

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	今戸老人福祉館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	---------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区今戸2-36-7
 【開設】昭和49年4月8日（33年経過）
 【建物概要】延べ床面積 289㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち4階部分
 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など
 【利用定員】なし
 【職員数】4名 ※施設長を除く(平成19年3月末現在)《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(非常勤1)、施設管理員(常勤2、非常勤1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】 ・ことぶき教室…高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習の場として教室を開催する。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

◆ 18年度施設利用実績（年間）（人）

	男	女	計	月平均
個人利用	18,118	13,500	31,618	2,635
団体利用	2,065		2,065	172
入浴利用	20,138		20,138	1,678

(個人・団体利用 前年比 0.09%減)

◆ 18年度各種行事（年間）

	社共 共済事業	移動寄席
開催数	1	1
参加延人員	117	77

◆ 18年度ことぶき教室実績（年間）

	カラオケ	生花	民謡	フォークダンス	ヨーガ	演歌体操	脳活性
開催数	21	10	10	10	10	10	10
参加延人員	640	199	240	171	137	165	133

(ことぶき教室参加者 前年比 2.1%増)

◆ 18年度健康づくり(介護予防)実績（年間）

教室名	開催数	参加延人員
笑顔のつどい	13	456
各種相談	4	13

(健康づくり(介護予防)参加者 前年比 3.3%増)

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	35,063,000	35,882,000	29,970,000		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	35,063,000	35,882,000	29,970,000		
決 算	委託料	33,230,000	25,095,452			
	料金収入等	0	0			
	管理経費	33,230,000	25,095,452			
	収 支	0	0			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[4] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[-] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	目立った苦情報告もなく、利用者が気持ちよく利用できる環境整備がなされた。
②事業（区の事業、自主事業）	A	施設利用者数は実績が大幅に伸びた前年並みを維持しており、また、ことぶき教室及び健康づくり（介護予防）の参加者が増加していることから、高齢者のいきがい活動の場として定着している。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	適切な日常の点検、清掃及び不具合発生時の早急な対応等がなされている。
④利用者の満足度等	A	健康づくり・介護予防の取組みとして実施している講座等の参加者アンケートからも満足度は高く好評を得ている。施設全体に係る満足度調査を隔年から例年実施に切り替える必要がある。
⑤歳入歳出	A	委託料等の見直しにより、経費の縮減がなされている。
⑥総合評価	A	事業及び施設管理において良好な管理運営がなされている。
8. 課題への対応等		
事業の企画運営、サービスの提供等全体的に良好である。 公衆浴場と合築している施設として、公衆浴場借上げによる入浴サービスを提供してきた。入浴サービス利用者についてはやや減少傾向にあるが、介護予防の取組みを中心とした事業内容に変更したことにより、個人や団体利用者の増加が見られ、北部地域の高齢者福祉施設として地域や高齢者に定着した施設となっている。 今後も老人福祉センターや他の老人福祉館とも連携し、地域包括支援センターや保健所などと協働して実施する介護予防事業の推進を図っていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	三筋老人福祉館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	---------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区三筋2-16-4
 【開設】昭和50年12月1日（32年経過）
 【建物概要】延べ床面積 638㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3・4・5階部分
 茶室、浴室、教養室、囲碁将棋室、娯楽室など
 【利用定員】
 【職員数】3名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在） 《内訳》施設長（1〔兼務〕）、施設管理員（常勤2、非常勤1）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】 ・ことぶき教室…高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習場として教室を開催する。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

◆ 18年度施設利用実績（年間）（人）

	男	女	計	月平均
個人利用	8,258	12,576	20,834	1736
団体利用	5,601		5,601	467
入浴利用	12,047		12,047	1,004

◆ 18年度各種行事（年間）

	社共 共済事業	移動寄席
開催数	1	1
参加延人員	148	45

（個人・団体利用 前年比 2.3%減）

◆ 18年度ことぶき教室実績（年間）

	絵手紙	カラオケ	フラダンス	民謡	気攻	演歌体操
開催数	20	19	20	20	10	10
参加延人員	358	605	391	247	151	161

（ことぶき教室参加者 前年比 6.4%増）

◆ 18年度健康づくり(介護予防)実績（年間）

教室名	開催数	参加延人員
笑顔のつどい	13	263
各種相談	8	262
健康体操	46	721

（健康づくり(介護予防)参加者 前年比 55.3%減）

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	28,176,000	20,350,000	18,735,000		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	28,176,000	20,350,000	18,735,000		
決算	委託料	19,364,000	19,286,952			
	料金収入等	0	0			
	管理経費	19,364,000	19,286,952			
	収支	0	0			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[4] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[4] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[-] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	各項目とも良好なサービス提供が行われている。
②事業（区の事業、自主事業）	A	施設利用者数は実績が大幅に伸びた前年並みを維持しており、また、ことぶき教室の参加者が増加しており、高齢者のいきがい活動の場として定着している。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	適切な日常の点検、清掃及び不具合発生時の早急な対応等により、大規模かつ緊急な工事・修繕がなかった。
④利用者の満足度等	A	健康づくり・介護予防の取組みとして実施している講座等の参加者アンケートからも満足度は高く好評を得ている。施設全体に係る満足度調査を隔年から例年実施に切り替える必要がある。
⑤歳入歳出	A	委託料等の見直しにより、経費の縮減がなされている。
⑥総合評価	A	事業及び施設管理において良好な管理運営がなされている。
8. 課題への対応等		
事業の企画運営、サービスの提供等全体的に良好である。 保育園と併設してことから園児たちと交流した健康体操の実施など、施設独自の取組みがある。利用者数については、実績が大幅に伸びた前年度とほぼ同水準を維持していることから、高齢者のいきがい活動の場として定着している。 今後も老人福祉センターや他の老人福祉館とも連携し、地域包括支援センターや保健所などと協働して実施する介護予防事業の推進を図っていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	特別養護老人ホーム浅草	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	-------------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 〔社会福祉事業会計〕歳入 2,325,052,110円、歳出 2,307,580,095円、収支差額 17,472,015円
 〔公益事業特別会計〕歳入 332,675,271円、歳出 348,785,744円、収支差額 -16,110,473円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区浅草4-26-2
 【開設】昭和62年4月1日（20年経過）
 【建物概要】延べ床面積 4588㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階
 駐車場、倉庫、ボランティア室、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、教養室、医務室など
 【入所定員】80名
 【職員数】45名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(2)、相談員(2)、介護職員(常勤23、非常勤12)、看護師(常勤4、非常勤1)、栄養士(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養 95%、短期入所 105%に設定。18年度の実績は特養 92.2%、短期入所 140.5%。（前年度より特養は1.9%、短期入所は12.7%上昇）

【施設管理】昭和62年4月1日開設（開設後20年経過）のため、大規模修繕が必要。

平成18年度実績 ○特養 延入所者数

	4月～3月
要支援2	11
要介護1	53
要介護2	50
要介護3	170
要介護4	343
要介護5	320
計	947

○短期入所 延利用者数

	4月～3月
実利用人数	313
延べ利用日数	2,052
利用率(%)	140.4

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	86,264,000	82,071,000	75,933,000		
	料金収入等	328,662,000	324,148,000	332,381,000		
	管理経費	414,926,000	406,219,000	408,314,000		
決 算	負担金補助及び交付金	88,486,215	66,752,067			
	料金収入等	323,526,575	336,977,042			
	管理経費	372,686,980	360,735,029			
	収 支	39,325,810	42,994,080			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[4] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[4]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
②事業（区の事業、自主事業）	A	特養、短期入所共に稼働率が上昇しており、おおむね良好である。浅草歯科医師会の口腔ケアモデル事業に協力し、検証事業を実施した。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	施設側で対応できる範囲においては、良好な管理が行われている。インフルエンザなど感染症の発生が見られた。施設としての感染症予防対策が課題となった。
④利用者の満足度等	A	利用者満足度調査結果を見ると、満足 71.4%、やや満足 28.6%と回答している（20項目）。自己評価においては、項目ごとに対応・改善策を講じている。
⑤歳入歳出	A	補助金、管理経費共に縮減されており、主に業務委託費の削減ができています。
⑥総合評価	A	衛生管理に関する項目を除けば、概ね良好である。
8. 課題への対応等		
24時間対応施設として常に保守・保全に努めている。開設後20年経過し、施設は老朽化が進んでいるが、計画的な修繕や不具合発生時の早急な対応により良好な施設管理を行うことができている。開設当初に購入した備品については、順次計画的に購入していく。施設運営については、より一層利用者本位のサービス向上に努め、安定経営に向けた取組みを推進する。インフルエンザなど感染症が発生したが、保健所等所管への迅速な報告、初期対応及び終息までの対応が適切になされ大事には至らなかった。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	特別養護老人ホーム谷中	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	-------------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区谷中2-17-20
 【開設】平成元年4月1日（18年経過）
 【建物概要】延べ床面積 2794㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
 倉庫、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、静養室、ボランティア室、談話室など
 【入所定員】50名
 【職員数】30名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(2)、相談員(2)、介護職員(常勤14、非常勤7)、看護師(常勤4)、栄養士(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、附属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績(利用者数等)、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養 95%、短期入所 100%に設定。18年度の実績は特養 91.6%、短期入所 113.0%。（前年度より特養は1.5%、短期入所は23.0%上昇）
 【施設管理】平成元年4月1日開設（開設後18年経過）のため、大規模修繕が必要。

平成18年度実績

○特養 延入所者数

○短期入所 延利用者数

	4月～3月
要支援2	0
要介護1	0
要介護2	40
要介護3	126
要介護4	281
要介護5	147
計	594

	4月～3月
実利用人数	336
延べ利用日数	2,489
利用率(%)	113.7

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金補助及び交付金	67,457,000	61,309,000	51,437,000		
	料金収入等	228,383,000	224,867,000	224,881,000		
	管理経費	295,840,000	286,176,000	276,318,000		
決算	負担金補助及び交付金	56,072,941	51,026,841			
	料金収入等	227,618,292	227,063,051			
	管理経費	276,507,439	268,131,891			
	収支	7,183,794	9,958,001			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
②事業(区の事業、自主事業)	A	特養、短期入所共に稼働率が上昇しており、おおむね良好である。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。感染症の発生については、衛生面の適切な運営の徹底により防ぐことができた。また、環境への配慮から壁面緑化に協力している。
④利用者の満足度等	A	概ね良好に運営されている。今後は全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。
⑤歳入歳出	A	補助金、管理経費共に縮減されている。
⑥総合評価	A	衛生管理について前年度から改善され、概ね良好である。
8. 課題への対応等		
24時間対応施設として常に施設の保守・保全に努めている。開設後18年経過し、施設は老朽化が進んでいるが、計画的な修繕や不具合発生時の早急な対応により良好な施設管理を行うことができています。開設当初に購入した備品については、順次計画的に購入していく。施設運営については、より一層利用者本位のサービス向上に努め、安定経営に向けた取組みを推進する。また、適切な衛生管理の徹底により、感染症の発生を防ぐことができた。		